

写真に見る

1115年前の長崎

日露戦争時代

一 順野 姫



①明治30年代に撮影された松の森通り(旧流鏑馬馬場) 長崎外国語大所蔵

□ 27 □

松の森通りと松の森神社

写真①は明治30年代の松の森通り(長崎市西山町、旧流鏑馬馬場)である。左の石垣と白塀は現存し、この前に日本人に初めて英語を教えたラナルド・マクドナルドとその学生であった蘭通詞森山栄之助の顕彰碑が立っている。

森山は英語が話せたため、アメリカ捕鯨船員として偽装漂着して崇福寺の末庵大悲庵に収容されていたラナルド・マクドナルドの取り調べに当たった。当時は英艦が頻繁に入港し英語通訳が求められていたため、他の通詞と共にこの座敷牢でマクドナルドから生の英語を教わった。森山はその後、「エゲレス語辞書和解」

の編集に加わり、ロシア使節のプチャーチンやアメリカ使節のペリーの来航時の通訳を務めている。この通りは江戸時代、流鏑馬馬場だった。おくんち最終日の日曆9月11日に古式弓馬術の流鏑馬が奉納された。馬を疾走させる区間は2町(約218m)。左手に三つのを立て、右手は狩装束をまとい、馬を疾走させ連続して鏑矢を射る。諏訪神社の流鏑馬神事は平成25(2013)年には長崎流鏑馬保存会により復活され、おくんち初日の奉納踊り後に境内で実施されてきたが、この2年はコロナで中止となっている。

写真②は、写真①の奥に見える松の森神社入り口で624年に今博多町で創られる。松の茂みから「松の建され、明暦2(1656)森」の由来が分かる。今は年にここに遷った。本殿外松が枯死し、クスノキが生い茂る。

松の森神社は諏訪神社、板絵は有名である。鳥居は伊勢宮神社と共に長崎三社延宝3(1675)年に博に数えられる。寛永元(1多屋基右衛門らが奉納し、



②松の森神社入り口の鳥居と正門(長崎外国語大所蔵)

一の鳥居であったが、今は拝殿前に移築されている。延宝8(1680)年に創建された檜皮ぶき切妻の正門は、200年余の間に改修と屋根のふき替えを繰り返し、明治35(1902)年に大改修されている。

(長崎外国語大学長)

この企画の過去の記事、写真は長崎外国語大のホームページ(<http://www.naasasaki-igo.ac.jp/recnas/newspaper/>)で見ることが出来ます。

おくんちで流鏑馬奉納



長崎外国語大のホームページにアクセスできるQRコード

随時掲載します